

## 目標1 男女共同参画の意識づくり

**《目指すまちの姿》**  
 男性も女性も一人ひとりが誇りを持って自分らしく生きています。「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個人として等しく尊重され、男女共同参画の必要性について理解を深めています。

**施策番号** 【1】 人権尊重・男女共同参画意識の醸成に向けた広報、啓発の充実

**施策の内容** 多様な団体との連携、あらゆる年齢層に情報が届くような様々な広報媒体の活用、男女共同参画の必要性について共感を得られるような内容・方法による効果的な広報・啓発活動を行います。

1		数値目標	現状値	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
担当課	人権課								
R2事業計画	人権啓発の推進、人権尊重の理解促進のため、市の広報誌、ホームページ等を通じた情報発信の継続的实施								
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報4月、8月、10月、12月、2月に「ホットコラム人権」を掲載。</li> <li>・地域コミュニティ誌等への人権コラムの掲載。</li> </ul>								
R2事業実績	ホットコラム人権として、4月号、8月号、11月号、12月号、2月号で掲載。								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	丸亀市人権・同和問題意識調査によると、啓発活動への市の広報紙の活用（33.2%）に関心があると回答がある。また、半数以上の方が、1～2回や何回も広報紙を読んだり見たりしたと回答しており、継続的な周知の成果がみられる。								
事業の実施状況を踏まえた課題	市の広報紙やホームページを通じた情報発信を行っているが、どこまで市民が理解しているのか、不明であり、今後の啓発の方法等を検討する必要がある。								

2		《指標》SNSを使った広報回数 ※( )は当該年度の目標値							
担当課	人権課男女共同参画室	数値目標	H28	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
			年10回	(年20回) 年22回	(年24回) 年23回	(年26回) 年23回	(年28回) 年27回	(年30回)	年30回
			《指標》市ホームページの「男女共同参画」ページへのアクセス回数						
			H27	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
	年375回	(年410回) 年347回	(年450回) 年299回	(年500回) 年269回	(年550回) 372回	(年600回)	年600回		
R2事業計画	<p>①男女共同参画週間（6/23～6/29）にあわせたパネル展、広報掲載など啓発を実施。</p> <p>②固定的な性別役割分担意識の解消につなげるため、男女共同参画キャッチコピーの募集を実施する（イメージイラストを提示し、それにあったコピーを考えてもらう）。</p> <p>③男女共同参画情報紙「ゆめ」による啓発実施（2回発行予定）。</p> <p>④男女共同参画にあまり関心のない人にも情報が届くようにするため、丸亀市フェイスブックによる情報発信を行う（最低2週に1回ペース）。また、フェイスブック掲載記事から市ホームページにアクセスされるよう関連記事にリンクさせる。</p>								
R2事業計画に関する具体的な目標	<p>①広報6月号に男女共同参画週間について掲載。今年のキャッチフレーズのチラシを掲示協力コミュニティ及びモデル保育所において掲示。</p> <p>②多くの人に男女共同参画についてより身近に考えてもらうために、キャッチコピーを募集（応募者数200人以上）。入賞作品の周知のため、多会場での掲示を実施（6か所）。イメージイラストとともにキャッチコピーをあしらったチラシを印刷し、掲示依頼（50社）</p> <p>③多くの人に読んでもらうため、紙面づくりから関わってもらう（取材人数：年5人以上）。幅広い年齢層へ周知するため、高校生（1年生）への配布を実施。</p> <p>④フェイスブックへの記事掲載を年に28回、市ホームページの「男女共同参画」ページへのアクセス回数を年550回。掲載内容を最新のものに変更していく。</p>								
R2事業実績	<p>①国の啓発キャッチフレーズの趣旨であるWLBの推進に主眼を置いたパネルを作成し、市役所で展示（期間：6/22～26）。その他、図書館（3館）にて関連図書展示を含む企画展を実施。コミュニティセンターには毎月掲示物を交換してもらう「啓発クイズパネル」を配布し、展示協力をしてもらった（10か所）</p> <p>②イメージイラストに合った男女共同参画キャッチコピーを市広報及び教員・保護者への依頼文書を通じて募集。応募総数197点の募集を得た。入賞作品は、市役所本館ロビー、飯山総合学習センター、綾歌市民総合センターで展示を行った。これとは別に、飯山南コミュニティセンターでの展示協力も得た。</p> <p>③令和元年度実施のワークライフバランス推進コンサルタント派遣事業のその後を取材。また不妊治療と仕事の両立について、市内医療機関代表（専門家）のアドバイスを男女共同参画情報紙「ゆめ」に掲載した。その他、年度末で活動を終了するゆめネットワークのこれまでの取り組みについても紹介した。</p> <p>④フェイスブックは2週間に1回程度のペースで男女共同参画の啓発記事をアップすることができた。</p>								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	あらゆる機会を通じて取材・周知（展示など）を行うことにより、男女共同参画を意識する裾野を少しずつだが広げることができた。								
事業の実施状況を踏まえた課題	キャッチコピーの入賞作品などを企業等に展示依頼する予定であったが、コロナ禍もあり今回は見合わせた。この代替措置として、作品を掲載した印刷物をポケットティッシュに入れ配布する予定（次年度持ち越し）。幅広い年代を視野に啓発対象を広げる工夫が必要だと考える。								

3		数値目標						
担当課	図書館		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	①男女共同参画に関する資料の収集やパンフレットの収集・提供を継続して実施する。 ②男女共同参画を啓発できるような図書を精選し、蔵書の充実に努める。							
R2事業計画に関する具体的な目標	①内閣府発行の冊子や、丸亀市男女共同参画情報誌「ゆめ」等、冊子やリーフレット等の収集に努める。 ②『男女共同参画白書』、『男女共同参画統計データブック』などの資料の定期的な購入、テーマの本の情報収集に努める。							
R2事業実績	男女共同参画に関する図書を51冊購入							
日指9まの姿に対して、事業実施により得られた効果	内閣府発行の冊子『共同参画』や、丸亀市男女共同参画情報誌『ゆめ』などの情報誌の収集や男女共同参画をテーマとした本、『男女共同参画白書』などの資料の購入を行い、市民に様々な情報を提供することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	今後も多岐にわたる情報を入手するよう心がけ、閲覧、揭示、貸出に努めたい。							

施策の内容	地域や団体などで人権尊重と男女共同参画を推進するリーダーを養成するとともに、リーダーが活動しやすいように協力します。
-------	--

4		数値目標						
担当課	人権課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	各コミュニティの人権啓発パートナーと連携し、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを行う。							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権研修の実施</li> <li>人権課や丸亀市人権・同和教育研究協議会等が主催する人権啓発行事への参加</li> </ul>							
R2事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権啓発パートナーの研修を実施した。</li> <li>6/3、10コミュニティ人権研修「身近な人権課題」(12名)</li> <li>10/4、2/19性的少数者交流会(3名)</li> <li>11/4香川県人権啓発展示室研修(5名)</li> <li>2/19人権啓発パートナー意見交換会(6名)</li> <li>・まるがめ人権通信を年6回発行し、情報提供を行ったほか、その返信で意見交換やアンケートを実施した。</li> </ul>							
日指9まの姿に対して、事業実施により得られた効果	各種研修により、人権啓発パートナー自身の人権意識を高めることができた。また、まるがめ人権通信のやりとりにより、自身やコミュニティの人権意識について考える契機となった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	人権啓発パートナーは、全コミュニティの協力があり各地区に配置できたが、人権啓発パートナーとしての取組は様々である。自身の研修の受講にとどまらず、所属コミュニティでの研修につなげた方もいるが、ほとんど研修に参加していない方もいる。ただ、全パートナーがまるがめ人権通信の返信は送ってくれたので、人権について何らかの考える契機となっていると考える。当課としては、それぞれのコミュニティの実情にあった啓発活動につなげてもらいたい、まずは人権についての意識付けが第1歩と考え、今のところは、研修の案内や情報提供など地道に取り組んでいく。							

5		数値目標	《指標》男女共同参画を推進するリーダーの登録者数 ※( )は当該年度の目標値						
担当課	人権課男女共同参画室		H28	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
			—	(0人) 0人	(5人) 0人	(10人) 0人	(15人) 0人	(20人)	20人
R2事業計画	①女性人材リストの作成を計画しており、リスト掲載者が更なる活躍ができるよう支援していく ②かがわ男女共同参画推進員の活動協力、支援を行う								
R2事業計画に関する具体的な目標	①リスト掲載を承諾した人に対し、自身のスキルアップのために必要と考えている能力等を聞き取り、スキルアップ講座実施に向けた準備を行う ②パネルの貸出、フェイスブックでの活動紹介など、それぞれ2回以上の支援を行う								
R2事業実績	①コロナ禍の影響から取り組みを見合わせた ②キャッチコピー入賞作品のパネル展示について、推進員の地元・飯山南コミュニティにおいて展示協力いただいた								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	人材リストの作成はできなかったが、かがわ男女共同参画推進員3人には、地元や活動団体を中心に男女の視点を広めていただける活動用の資料提供はできた								
事業の実施状況を踏まえた課題	人の交流や動きがあることが本事業の基礎となっている部分があり、R2は思うように活動できなかった。対面困難なコロナ禍においても活動できる仕組み（工夫）を構築する必要がある								

6		数値目標							
担当課	人権課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
施策の内容	市が制作する広報物などについて、人権尊重と男女共同参画の視点に立った適切な表現を推進します。								
R2事業計画	市職員への研修において、人権尊重と男女共同参画の視点に立った、適切な表現の使用について啓発する。								
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員（会計年度任用職員含む）への研修を実施する。</li> <li>研修時等に市作成の「ジェンダーフリーの表現ハンドブック」の周知・活用を呼びかける。</li> </ul>								
R2事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員管理職・一般職研修552名</li> <li>会計年度任用職員213名</li> <li>給食センター（会計年度任用職員含む）51名</li> <li>クリーン課（会計年度任用職員含む）69名</li> <li>消防（会計年度任用職員含む）96名</li> <li>ポートレース事業局（会計年度任用職員含む）180名</li> </ul>								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	市職員のアンケート結果から、市職員等の人権意識が市民の人権意識より高いことが分かった。これは、毎年、全職員への人権研修を実施している成果である。								
事業の実施状況を踏まえた課題	市職員のアンケートの自由記述において、一定数の理解が十分でない又は、誤った考えのままであると思われる市職員へのアプローチが課題である。市職員は市民の人権を守る立場にあることを意識、理解し、常に人権尊重の視点に立って日常業務に努めることができるように、引き続き研修内容の工夫を行い、豊かな人権意識の維持と向上の推進を図っていきたい。								

7		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課で作成する印刷物を男女共同参画の視点で点検し、よりふさわしいイラスト表現を行うため、「ジェンダー・フリー」の表現ハンドブック（平成14年作成）の内容を全庁で共有する。</li> </ul>							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現ハンドブックの理解促進と、掲載イラスト利用促進のために庁内周知を行う（1回以上）。</li> <li>市ホームページやフェイスブック等において、男女共同参画の視点に立った適切な表現について、市役所内外に向けた情報発信を行う。（1回以上）</li> </ul>							
R2事業実績	<p>毎月、市広報のイラスト・写真の使用例をチェックしており、固定的性別役割分担意識の再生産につながるイラストや写真の使用があった際には担当課へ意見を伝えた。また、改善された使用例があれば担当者に感謝の言葉を伝えた（感謝の言葉は2回）</p>							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<p>意見や感謝の言葉を伝え続けることことで、男女共同参画を意識した紙面づくりが感じられるようになってきたと感じる。人権感覚の向上が図られてきている</p>							
事業の実施状況を踏まえた課題	<p>ジェンダー・フリー表現ハンドブックは素材的に古く、現状と異なる点もある。冊子見直しが必要だと考える</p>							

## 目標1 男女共同参画の意識づくり

### 《目指すまちの姿》

男性も女性も一人ひとりが誇りを持って自分らしく生きています。「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個人として等しく尊重され、男女共同参画の必要性について理解を深めています。

施策  
番号

【1】 人権尊重・男女共同参画意識の醸成に向けた広報、啓発の充実

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	今年度はコロナ禍における人権問題なども含め、様々な人権課題について、市広報紙やホームページを通して人権啓発・人権尊重の理解促進に向けて周知啓発に努めたことと、地域における人権啓発のリーダー等の人材育成の取組からも、人権尊重・男女共同参画意識の醸成に繋がってきていると考える。今年度はコロナ禍で研修会の減少や人数制限もあったのだが、より多く市民への広報・啓発の充実が、参加者の固定化打開と共に今後の課題である。
図書館長	B⇒ B	男女共同参画に関連する情報誌の収集、男女共同参画白書、女性白書などの統計資料や関連図書等の定期購入、男女共同参画週間の特別展示などを行い、情報発信と啓発に成果があったと考えている。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

## 目標1 男女共同参画の意識づくり

**《目指すまちの姿》**  
 男性も女性も一人ひとりが誇りを持って自分らしく生きています。「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個人として等しく尊重され、男女共同参画の必要性について理解を深めています。

施策番号	【2】	情報の収集、提供と実態調査の実施
------	-----	------------------

施策の内容	市民が、男女共同参画をめぐる国際社会の動きと我が国の状況について理解を深められるように、国際的動向などの情報収集と提供を行います。
-------	---

8		数値目標	現状値	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
担当課	人権課男女共同参画室								
R2 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座や市ホームページ、フェイスブックで、国際的に見た我が国の男女共同参画の現状（ジェンダー・ギャップ指数など）を知らせる。</li> </ul>								
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済団体向けの出前講座の際には必ず国際的に見た我が国の男女共同参画の現状を紹介する。また、「国際女性デー」や「イコールペイデイ」などに合わせたパネル展、ホームページなどで2回以上発信する。</li> <li>コミュニティ掲示板に男女共同参画コーナーを設け、定期的にクイズ形式の啓発情報を掲示してもらう（7コミュニティ以上）</li> </ul>								
R2 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済団体向けの出前講座はコロナの影響で実施できず。国際女性デーパネル展（3/1～11）、イコールペイデイに合わせたフェイスブック記事の掲載、国際的観点から見た男女共同参画を扱った市ホームページ掲載を行った</li> <li>コミュニティセンター内の「男女共同参画の啓発クイズパネル」の設問のひとつに「ジェンダーギャップ指数」の結果、日本は何位かという設問設定をした（展示コミュ10か所）</li> </ul>								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	コミュニティセンターでの掲示をセンター職員に依頼したことにより、定期的に掲示物交換することで、センター職員の男女への意識が以前に比べて高くなったと考える。室職員も定期的に訪問し、声掛けをしているため、内容に興味を持つ層（裾野）が徐々に広がっていると考え								
事業の実施状況を踏まえた課題	若年層への啓発アプローチに課題がある								

施策の内容	人権や男女共同参画に関する調査を行い、把握したデータなどを基に、実態把握と今後の施策検討を行います。							
9		数値目標						
担当課	人権課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	各研修や講演会において、アンケート調査を行ない、実態把握や今後の施策検討を行なう。							
R2事業計画に関する具体的な目標	人権セミナーや市民のつどい等の広く市民を対象とした研修会において、参加者の属性等についてのアンケート調査を行なう。							
R2事業実績	コロナウイルス感染症対策のため、市民のつどいは中止としたが、人権セミナーは、4回実施し、参加者77人、回収72人で94%の回収率だった。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	人権セミナーの研修のアンケートによると、研修を受けることにより、知ることやより深く学ぶこと、正しい知識の大切さなどが理解できたと多数の方が回答しているので、正しい理解の促進が図れた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	豊かな人権感覚を持った市民を増やすためには、大勢の市民に人権意識の向上を図る必要があるため、正しい理解の促進ができるような人権セミナーの内容を検討する必要がある。							

10		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	5年に1度、実施する市民アンケート、企業アンケートにより、意識および実態の把握を行う。そのうえで5年前から改善・向上できていない内容については、次期プランにおいて、取り組み方法を抜本的に見直し、事業反映していく							
R2事業計画に関する具体的な目標	アンケート結果より明らかとなった改善ポイントに対し、どのように施策設定を行うか、次期プラン策定ワーキンググループの協力を得ながら、1項目以上、新規事業を計画する							
R2事業実績	回収結果（市民アンケート32.9%、企業アンケート52.6%）から見る成果の最大のもの、性別役割分担意識がまだまだ根強く残っているということが明らかとなったことである。継続的に啓発事業を行う必要性を再確認したが、新規事業計画についてはR4年度からの次期プラン策定時に反映する見込み							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	コロナ禍の影響からワーク・ライフ・バランスの意識変化があるかと考えていたが、あまり変化がなかった。その中でハラスメント対策については法整備の効果もあり、企業での取り組みが進んでいる結果であった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	若い時分からワークライフバランスを意識した行動ができるよう、教育現場での啓発が行われているが、社会に出ると、根強い性別役割分担意識が社会を覆っており、労働環境に出た若者は環境変化をさせるまでの力がない（少数派だから）。劇的改善の手法がなく、地道な取り組みが必要であると考え							

## 目標1 男女共同参画の意識づくり

### 《目指すまちの姿》

男性も女性も一人ひとりが誇りを持って自分らしく生きています。「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個人として等しく尊重され、男女共同参画の必要性について理解を深めています。

施策番号	【2】	情報の収集、提供と実態調査の実施
------	-----	------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	各種研修会や講演会ではアンケート調査を行い、様々な意見や現状の確認ができていることより、今後の施策にその都度活かしていけると考える。繰り返し学ぶことの有効性より、今後も継続した研修を行い、正しい理解の促進をはかりながら、見えてきた課題の解消に向けた取組を図る。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

- A : 目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B : 目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C : 目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。